

一般質問

今定例会における一般質問は、9月10日・11日の2日間
にわたり行われ、11人の議員が市政全般に対する諸問題に
ついて市の所信をいただきました。
内容は広範にわたっており、その要旨を掲載
いたします。

(本文は質問者本人の責任をもって要約したものです。)

柴田 信 議員 (6ページ)

○本市におけるごみ処分に係る取組と市政運営について

堀口 きく枝 議員 (7ページ)

○高齢者の就労支援について
○各種スポーツ大会の補助について

飯島 一志 議員 (7ページ)

○地域農業の課題と持続可能な行政運営について

小林 但弥 議員 (8ページ)

○湯けむり国スポ・全スポぐんまと本市のスポーツ
ツーリズムについて

岡野 陽子 議員 (8ページ)

○新型コロナウイルス感染症定期予防接種と城沼
の水質保全について

平井 玲子 議員 (9ページ)

○マイナ保険証の普及・利用促進とカスタマーハラス
メント対策

田辺 純子 議員 (9ページ)

○小・中学校体育館のエアコン設置について

池森 のり子 議員 (10ページ)

○耕作放棄地の現状と課題について
○市斎場の現状について

篠木 正明 議員 (10ページ)

○地域公共交通計画について

斉藤 貢一 議員 (11ページ)

○まちなかにぎわい再生方針について問う

吉野 高史 議員 (11ページ)

○市長就任後、3年半の反省点と今後について

9月10日

9月11日

本市におけるごみ処分に係る取組と 市政運営について

柴田 信 議員



質問 本市のごみ処分に係
る取組について問う。

答弁 令和5年2月に策定
した「館林市ごみ処理基本
計画」では、基本理念を

「もったいないの心を育み、
みんなで取組む「ごみゼロ」
のまち」として、令和14年
度の目標年度に向け、4つ
の基本方針のもと41の取組

を実施することとしていま
す。資源化の目標では、リ

サイクル率を基準年度の令
和3年度18・9%から令和
14年度は26・8%としてお

り、令和5年度現在は18・
3%となっております。また、
この計画には「館林市食品
ロス削減推進計画」を包含
しており、この計画におい

ても2つの基本方針のもと
5つの取組により、事業系
食品ロスを合わせた1日当
たりの食品ロス発生量を基
準年度の令和3年度177
gに対し、令和14年度は
120gとしています。

質問 本市の市政運営につ
いて問う。

答弁 市長公約については、
大きく5つの方向性を示し
た中で、具体的な事業とし
て35項目の公約を掲げてい
ます。大きな方向性の1点
目としましては「邑楽郡内

各町との連携を深めるもの」
など、広域連携に関するも
のが4項目あります。2点
目としましては「公立幼稚
園・保育園をこども園化し、
子育て環境の充実を図るも
の」や「給食費の無料化を
目指すもの」など、教育・

子育てに関するものが7項
目あります。3点目としま
しては「新型コロナウイルス
に対応など、全市民が確実
に接種できる体制を構築す
るもの」や「高校生世代の
入院費の無料化を目指すも

の」など、医療・福祉・生
活に関するものが10項目あ
ります。4点目としまして
は「産業団地新規造成と企
業誘致、大型商業施設誘致
を促進するもの」など、活
力ある産業政策に関するも
のが5項目あります。最後

に5点目としましては「市
民の声を反映した市街地活
性化を進めるもの」など、
協働のまちづくりに関する
ものが9項目ありまして、
全て合わせると35項目にな
ります。